

# 茂原を動かそう!

討議資料

## 茂原市議会議員

### 市政レポート25003

# 竹村聡

そう

(発行)竹村聡事務所 茂原市国府関1934-7

## 茂原市令和7年度当初予算案が可決 過去最大! 339億7千万円

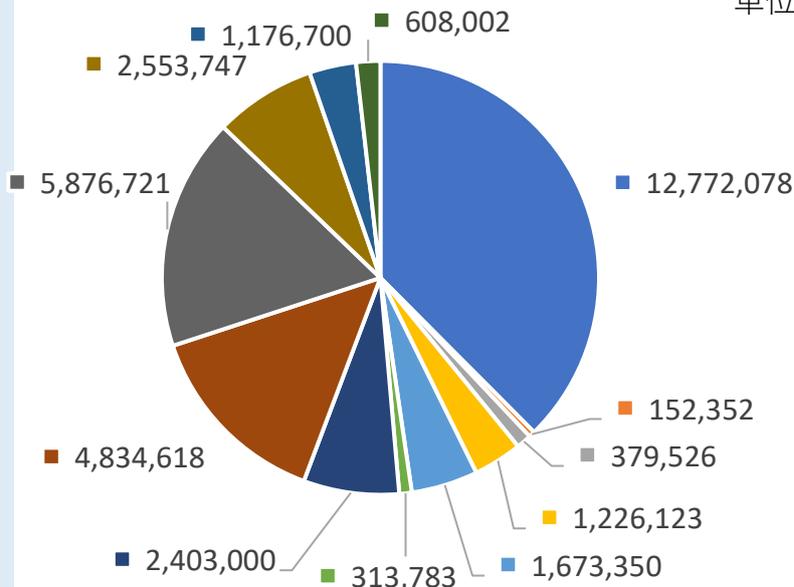
### 1 令和7年度予算案が可決

令和7年(2025年)3月13日に、令和7年度当初予算案が、可決されました。3月議会では、陳情1件、令和7年度当初予算案を含む議案20件、そして、議会条例・規則の改正に係る発議案3件が可決されました。今回は、令和7年度予算について、見ていきましょう。

### 2 歳入・歳出について

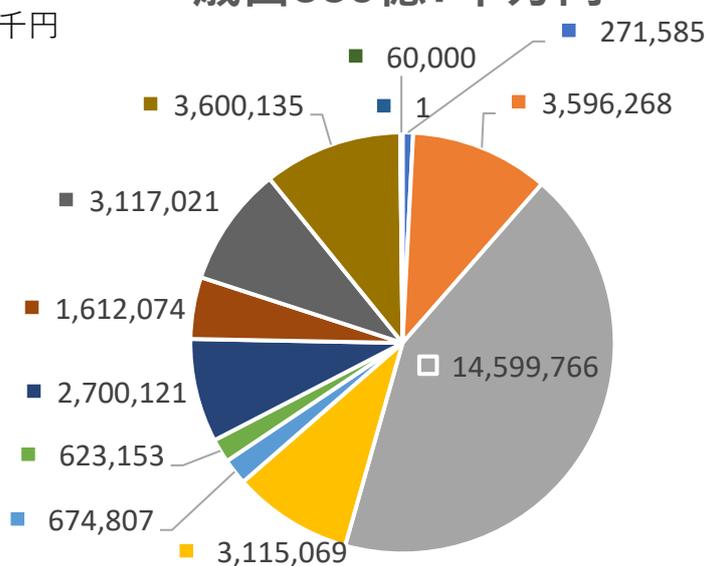
#### 歳入339億7千万円

単位: 千円



- 市税37.6%
- 使用料及び手数料1.1%
- その他の自主財源5%
- 地方消費税交付金7.1%
- 国庫支出金17.3%
- 市債3.5%
- 分担金及び負担金0.5%
- 諸収入3.6%
- 地方譲与税0.9%
- 地方交付税14.2%
- 県支出金7.5%
- その他の依存財源1.7%

#### 歳出339億7千万円



- 議会費0.8%
- 民生費43%
- 農林水産業費2%
- 土木費7.9%
- 教育費9.2%
- 災害復旧費0%
- 総務費10.6%
- 衛生費9.2%
- 商工費1.8%
- 消防費4.7%
- 公債費10.6%
- 予備費0.2%

### 3 歳出における主な増減

#### ・ 民生費

令和6年度低所得者支援給付金給付事業の皆減等はあるものの、児童手当支給事業、訓練等給付事業、子どものための教育・保育給付事業、介護給付事業、介護保険事業特別会計繰出金、生活保護扶助費等の増により、前年度予算額に対して1,262,374千円、9.5%増となりました。

#### ・ 教育費

図書館移転事業の皆減等はあるものの、中学校管理補修費、旧市民会館及び旧中央公民館解体事業の増により、前年度予算額に対し、165,856千円、5.6%増の3,117,021千円となりました。

#### ・ 消防費

長生郡市広域市町村圏組合負担金75,314千円の増により、前年度予算額に対して、75,314千円、4.9%増の1,612,074千円となりました。

#### 4 令和7年度当初予算における主要事業（スペースの関係上一部のみ記載）

- ・令和7年度から市内の中学校に通う中学3年生を対象に、実用英語技能検定（「英検」）の検定料を公費負担とする制度を新設（国際化推進事業）
  - ・施設老朽化が進む東郷第2学童クラブ改修工事（放課後児童健全育成事業）
  - ・旧市民会館及び旧中央公民館解体事業・道の駅等基本構想策定に係る業務委託（道の駅等都市交流拠点設置事業）
  - ・産業用地立地可能性調査及び産業用地適地選定に係る業務委託（企業立地促進事業）
- ※詳しくは、市の広報や公式ウェブサイトでご確認ください。

#### 5 令和7年度予算における経常収支比率と財政調整基金年度末残高について

令和7年度予算においては、経常収支比率が99.9%で財政調整基金を12億円を歳入に繰り入れました。財政運営にあたっては、常に経常経費を節減し、財政構造の弾力化を確保するよう努めていかなければなりません。そのため、経常収支比率がどのように変化しているのかをしっかりと見ていかなければなりません。本年度は前年度と比較して、経常収支比率が6.5%上昇しております（令和6年度決算見込93.4%）。

さて、経常収支比率とは何か簡単に見ていきましょう。**経常収支比率**は、人件費など定期的に支出する「経常経費充当一般財源」が、税金や普通交付税などの経常的な収入である「経常一般財源等」に占める割合をいいます。財政構造の弾力性の度合いを示す指標の一つであります。この数値が100%に近付くと、経常的な支出が経常的な収入のほとんどを占めていることを意味します。災害等のイレギュラーな事象に適切に対応する財政的な余裕がない状態にあるということです。一般的には、経常収支比率は75%以下が望ましいとされています。本年度は99.9%ですから、イレギュラーな事象が発生した場合には、財政調整基金等を繰り入れて対応していかなければなりません。

さて、財政調整基金とは何なのか。**財政調整基金**とは、災害などの不測の事態や財源不足に備えるため、決算剰余金（決算において、収入済額が支出済額を上回る場合の差額）等を積立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金をいいます。一般的に、標準財政規模の10%程度が適正とされています。茂原市の標準財政規模は、196億8千6百万円で、その10%は、19億6千8百万円となります。令和7年度の予算案において、年度末での財政調整基金残高は、21億9百万円となりますので、一般的に適正とされている額を上回ることとなります。この点、茂原市においては、特別な事情があるから、この10%基準よりさらに多く積み立てる必要があるという考え方も当然あり得るでしょう。私としては、財政調整基金は、一般的に適正とされている基準額を確保しつつ、市民サービスや税金確保に向けた事業に使い、より良い循環を作る為に余剰分（標準財政規模の10%を超える部分）を活用すべきであると考えています。

#### 6 市長に対する総括質疑

**問1** 令和7年度予算において、市の単独の施策の中で国の施策、方針との違いで財源確保できず断念したものはあったのか。また、令和8年度以降で予定している新規施策にはどのようなものがあるのか。（質問者：竹村）

**答弁** 第2次3か年実施計画に掲げ、実施予定している事業につきましては、財政調整基金を活用し、全ての事業を計上しております。また、令和8年度以降の新規施策に関しましては、令和7年度に策定を予定している第3次3か年実施計画の中で、検討してまいりたいと考えております。（市長答弁）

**問2** 大型投資事業となる施策等の整備はどのように考えて進めていくのか。また、市民会館の建設に関してどのように考えているのか。（質問者：竹村）

**答弁** 大型投資事業に関しましては、「最小の経費で最大の効果を挙げる」という財政運営の理念を踏まえ、総合計画との整合を図りながら進めてまいりたいと考えております。市民会館につきましては、現在、駅前イオン跡地を活用すべく、イオンリテール株式会社と協議を進めているところでございます。（市長答弁）

#### 7 本予算に対する見解（賛成した理由）

本予算は、厳しい財政状況の中で、財政健全化への取り組みを進める一方で、防災・減災対策の強化、地域経済活性化や少子高齢化への対応など市民生活に密着した施策への取り組みがなされています（その点について評価いたします）。企業立地促進事業や道の駅等都市交流拠点設置事業といった「稼ぐ自治体」になるための積極的な事業も盛り込まれております（その効果に期待したいところであります。）。本道の駅については、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能のほか、防災機能や地域振興施設を備える、新たな交流拠点としての役割を期待されています。

その一方で、約3割の道の駅が赤字であるということも耳にします。

JDI茂原工場のパネル生産終了、工場売却による令和8年度以降の影響は、不透明な状況にあります。引き続き厳しい財政状況にあることに変わりはなく、市民に喜ばれる成果を出すために、一つ一つの事業に誠心誠意、全力で取り組まれるよう、また、道の駅については、慎重にデータを分析し、今後の判断をしていくことを求めつつ、本予算に賛成いたします。（※令和7年度は、道の駅の可能性調査を含む基本構想の策定を進めていきます）

討議資料



#### プロフィール

- 昭和56年（1981年）2月27日生  
茂原市生まれ 行政書士
- ・二宮小学校卒業 富士見中学校卒業
  - ・千葉県立長生高等学校卒業
  - ・東京外国語大学外国語学部卒業（欧米第二課程スペイン語専攻）
  - ・専修大学大学院法務研究科修了
  - ・千葉県行政書士会前監事
  - ・千葉県行政書士会長夷支部副支部長

市民によりそう！  
ともに茂原を動かそう！

## 竹村聡事務所

市政についての皆様のご意見・ご要望をお聞かせください！

茂原市国府関1934-7  
TEL 090-3211-5208  
FAX 050-3458-2410  
MAIL mobarashako.st@gmail.com

ホームページ



X@soutake1981

